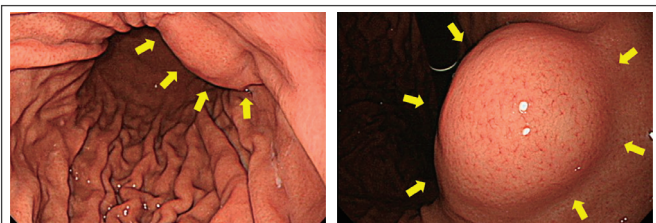


消化器疾患の診断と治療

～胃粘膜下腫瘍と LECS について～

1. 胃粘膜下腫瘍および GIST について

日々上部消化管内視鏡検査を行なっておりますと、「胃粘膜下腫瘍」に遭遇することがあります。内視鏡検査での胃粘膜下腫瘍の発見頻度は1～4%といわれていますが、内視鏡医にとっては決して珍しいものではありません。胃粘膜下腫瘍とは胃の粘膜下にできる腫瘍の総称ですが、その中で最多とされるのは消化管間質腫瘍（Gastrointestinal stromal tumor：GIST）といわれる腫瘍です。



上部消化管内視鏡検査

胃体中部小弯後壁寄りに胃粘膜下腫瘍を認める（黄色矢印）。

GIST は粘膜下層内のカハール介在細胞から発生し、転移も起こすなど悪性のポテンシャルを有した腫瘍ですが、その悪性度は基本的には腫瘍径や増殖能に準ずると考えられています。この観点から、診療ガイドラインでは、①2 cm以下で悪性所見がなければ、定期的な画像検査による経過観察、②2cm 未満でも悪性所見を伴う例や、無症状でも2 cm以上5 cm未満である例は手術療法を視野にいった精査、③有症状例や組織学的にGIST であると診断された例、また組織型を問わず5 cm以上の径である例は原則手術療法をおこなう、といった方針が示されています。なお、精査の過程で転移などにより完全切除不能あるいは手術適応外とされたGIST に対しては、薬物療法が選択されます。

消化器内科 科長 塩 せいじ

高知医科大学 平成10年卒業

- 日本内科学会認定内科医・指導医
- 日本消化器病学会専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- 日本ヘリコバクター学会認定医
- 京都大学医学博士

精査対象と判断された胃粘膜下腫瘍に対しては、主として超音波内視鏡（endoscopic ultrasonography：EUS）をおこないます。EUS では消化管壁の層構造を明瞭に描出することができ、腫瘍のサイズや形態、病変の深達度、発生部位や主座、内部エコー像など、様々な情報を得ることができるため、EUS は胃粘膜下腫瘍の精査において重要な役割を果たします。GIST の場合、典型的な EUS 像は固有筋層である第4層に連続する低エコー腫瘍として描出され、実質エコー不

LIVE 配信日

2021年10月28日(木) 18:30 ~ 19:50

申込方法 この Web Seminar は事前登録が必要です。

大変お手数ですが下記アドレス又は右のコードより事前登録をお願い申し上げます。登録内容は次の通りです。



- ①ご施設名 ②お名前 ③ご職種 ④医籍登録番号(単位希望の場合)
- ⑤ URL 送信希望アドレス
- ★登録後、ご指定のメールアドレスに接続用 URL をお送りいたします。
- メールでのご登録：第一三株式会社 山中幸義
yamanaka.yukinori.ga@daiichisankyo.co.jp

基調講演

座長 本庄医院 副院長 本庄友行 先生
『冠動脈疾患と血管内イメージング』
演者 神鋼記念病院 循環器内科 医師 杉崎陽一郎

特別講演

座長 神鋼記念病院 循環器内科 科長 亀村幸平
『抗血栓薬を減らす時代がきました』
演者 兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 科長 高谷具史 先生

* 日本医師会生涯教育講座 1 単位申請しております。
〔日医生涯教育講座基調講演：CC42(胸痛) 0.5 単位
特別講演：CC73(慢性疾患・複合疾患の管理) 0.5 単位〕

お問合せ

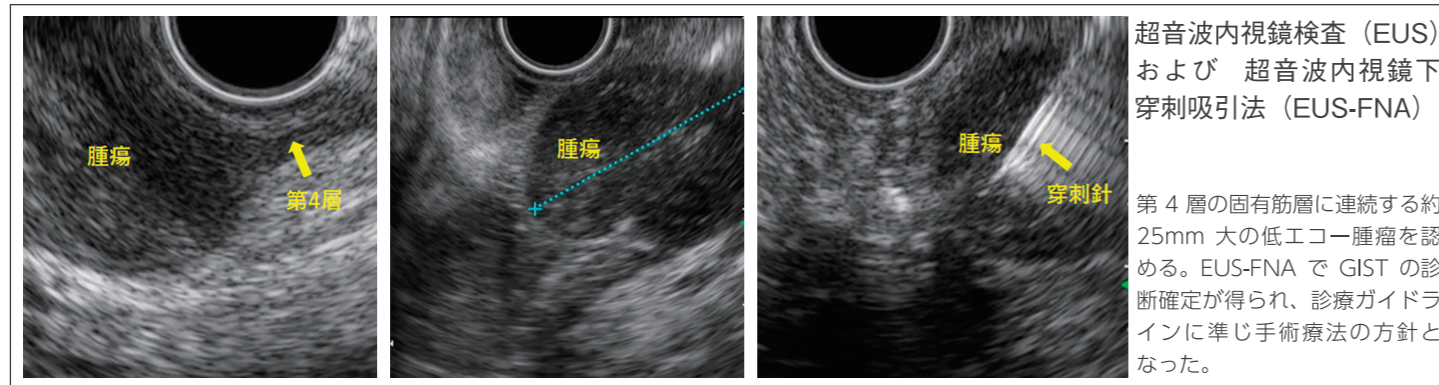
第一三株式会社 山中幸義
yamanaka.yukinori.ga@daiichisankyo.co.jp

均一や辺縁不整、境界不明瞭などの所見を伴っていれば高悪性度であることが示唆されます。しかし、GIST であっても画像所見だけでは他の間葉系腫瘍である平滑筋腫や神経鞘腫との鑑別は困難であることも多いため、診断確定のために診療ガイドラインでは EUS ガイド下穿刺吸引細胞診 (Endoscopic Ultrasound-Fine Needle Aspiration: EUS-FNA) をおこなうことが推奨されています。EUS-FNA は 2010 年 4 月に保険適応され、当科でも粘膜下腫瘍のみならず痔腫瘍等に対しても積極的におこなっており、日々診断の精度向上に努めています。

その他、造影 CT による精査も有用です。壊死や出血、内部不均一、辺縁不整、血流が豊富などの所見があれば高悪性度が疑われます。また、CT では他臓器転移や播種の有無も確認できるため、治療を想定した精査の際には、病期診断も含め必須の検査となります。

2. 胃粘膜下腫瘍に対する手術療法 : LECS について

手術適応とされた胃粘膜下腫瘍に対して、従来行なわ

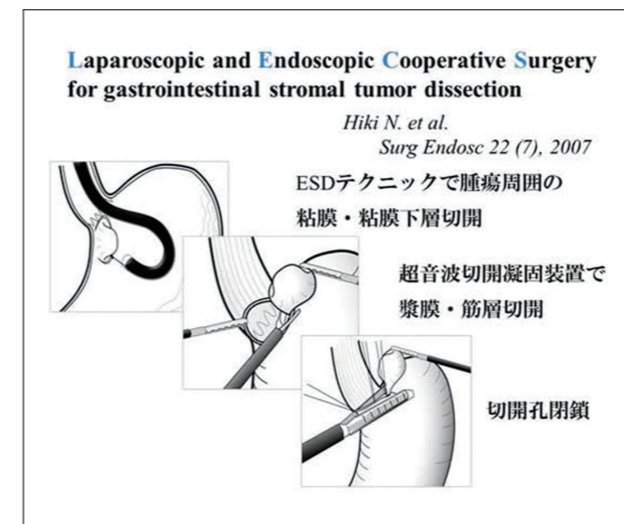


れていた胃の局所切除では、胃の内腔に突出する粘膜下腫瘍の局在を管外から把握することに限界がありました。そのため、切除する範囲を最低限に済ませることが出来る方法として、2006 年に本邦で腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除 (Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery: LECS) という新規の低侵襲手術が考案されました。この手術は、消化器内科医による内視鏡手術と消化器外科医による腹腔鏡下胃局所手術の合同手術として、内科と外科が協力して行います。開腹手術と同様、全身麻酔下で、消化器内科医が口から挿入した上部消化管内視鏡で胃の内腔を観察、腫瘍を同定したのち、粘膜内の早期胃癌に対して広く行われている粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal dissection: ESD) の手技を用いて、胃の内側から腫瘍の周囲を数か所切除します。続いて、この切除箇所を目印に外科医が腹腔鏡下に胃の外側から腫瘍を切除し、体外へ摘出します。この方法を用いることで余剰な胃壁切除を避けることができ、また、術後の胃の変形も最小限で済み、胃の機能温存も図ることが出来ると考えられています。

LECS は 2014 年に保険収載され国内外で普及しつつあ

りますが、どの施設でも可能というわけではありません。LECS に直接関わる消化器内科医には、十分な ESD の手技経験が求められます。当科では、以前より ESD に積極的に取り組んでおり、この数年で上部消化管症例は年間 50-70 例ほど、下部消化管症例も年々増え、2020 年度は 30 例近くを経験しています。この経験を活かし、当院でも外科と協力して適応と考えられた症例に対し LECS をおこなっており、教育的な症例に関しては論文発表もおこなうなど学術活動にも努めています。

ひきつづき胃粘膜下腫瘍の診断から治療まで、消化器内科メンバー一同で取り組んでいきたいと考えております。今後とも神鋼記念病院消化器内科を宜しくお願い致します。



※ LECS 研究会 HP より転載

開業医探訪

Vol.61

六甲道診療所



今回の開業医探訪は、JR 六甲道駅と阪神新在家駅との中間にあります「六甲道診療所」へ訪問致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

平成 4 (1992) 年に、ろっこう医療生活協同組合 2 つ目の診療所として開設されました。開設して 3 年後の阪神淡路大震災で建物が全壊しましたが、なんとか再建することができ、現在 30 年目に入っています。

— どのような患者さんが来院されますか？

震災後、周辺に多くのマンションが建設されて子育て世帯が住むようになりました。当院は小児科を標榜しており 19 時まで診療していますので、子どもから大人まで年齢層は大変幅広く、急性疾患の治療で来院される方が多いのが特徴です。また、鶴甲地区に診療所がないこともあって用事を兼ねてバスで来院される方もおられます。往診も行っており、系列の灘診療所等とも連携しながら灘区中心に対応しています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

患者さんが何を求めて来院しているのか、職員全員で訴えに耳を傾け把握するよう常に取り組んでいます。診察に時間がなかなか取れない状況のなか、特に看護師による問診や情報把握及び共有は大変重要であり、今後の診療や患者さんの満足に大きく関わっていることを痛感しています。また、診察前には再診患者さんの予習を必ず行って、限られた時間のなかで患者さんと濃密な診療・関わりが持てるよう努めています。

— ひとこと

発熱などを主訴に、受診ができる診療所を求めて来院されるケースが増えています。濃厚接触者として家族での来院が増えているうえ、陽性率の高さを肌で日々感じています。日々変わっていくニーズを常に把握し、医師 1 人体制のなかで出来る限りの対応ができるよう努めて地域医療に貢献していきます。また、往診も引き続き行って住み慣れた地域で生活できるよう、引き続きサポートしていきたいです。

六甲道診療所

〒657-0036 神戸市灘区桜口町 4 丁目 5 番 1 2 号
TEL : 078-811-0555
院長：谷口敏光

診療時間 (受付時間)	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00 ~ 19:00	○	/	○	/	○	/	/

休診 火曜・木曜・土曜の午後、日曜、祝日

令和3年度 神鋼記念病院 地域医療連携交流会

Web
開催

今年度の地域医療連携交流会につきましても、Web（Zoom）で開催することに致しました。是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 2021年10月21日（木）18:30～20:00

次第 I 開会の挨拶 院長 東山 洋
II 講演 座長：地域医療連携センター長 鈴木 雄二郎

『造血器腫瘍：最近の目覚ましい治療の進歩について』
血液内科部長 常峰 絃子

『神鋼記念病院における前立腺癌に対するロボット支援下手術、
前立腺肥大症に対するホルニウムレーザー核出術』
泌尿器科部長 結縁 敬治

III 閉会の挨拶 地域医療連携センター長 鈴木 雄二郎

申込方法 参加申込書（別紙）にご記入のうえ、FAXで送付ください。
後日、ZoomのID・パスワードを送付させていただきます。

備考 日本医師会生涯教育単位 1.5 単位申請しております。

お問合せ 地域医療連携室 078-261-6739（直通）

第36回 研究カンファレンス（個の医療研究会共催）

Web
開催

日時 2021年10月28日（木）17:15～18:15

演題 『NK細胞の真実
～移植成績から判ったチェックポイント～』

演者 神鋼記念病院 血液内科 科長
兼 総合医学研究センター 血液疾患研究所 所長 有馬 靖佳

申込方法 参加をご希望の方は、施設名、氏名、ご連絡先（電話番号・メールアドレス）を下記メールアドレスまでご連絡ください。
後日、ZoomのID・パスワードを送付させていただきます。
koyama.saori@shinkohp.or.jp

備考 日本医師会生涯教育講座 1 単位申請しております。

お問合せ 神鋼記念会 総務室 兒山（こやま） TEL：078-261-6711

Medical News

2021年10月
Vol.171

Shinko Hospital

Contents

■特集 消化器疾患の診断と治療
～胃粘膜下腫瘍とLECSについて～

■開業医探訪

■インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して
皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、
安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、
プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、
地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、
切れ目のない医療サービスの提供に
努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かな
スタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47

TEL:078-261-6711（代表）

FAX:078-261-6726

URL:https://shinkohp.jp

発行責任者：理事長 山本 正之

編集責任者：神鋼記念病院広報委員長

松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから！！

神鋼記念病院

https://shinkohp.jp